

1 の続き

④「とっても」…「とても」をさらに強めた言い方ですが、話し言葉なので作文ではあまり使わない方がよいです。

別解「かなり」「非常に」「たいへん」「すこぶる」「きわめて」

⑤「だけど」は「だけれども」を省略した話し言葉です。

別解「けれども」「ところが」「しかしながら」「だが」

⑥「～し」…ことからの説明や要約が続きます。

別解「ため」「ゆえ」

2

⑦「すごい速く～」も俗語的な言い方として目にするようになりましたが、日常でよく使われている言葉でも、文章にはふさわしくない場合があるので注意しましょう。

別解 1④参照

⑧「いっぱい」…この文章では数量の強調として使われています。改まった場面ではあまり使いません。

別解「数多く」

⑨「なので」…話し言葉であるため作文では使わない方がよいでしょう。

別解「そのため」「このことから」

⑩「ないんじゃ～」…「ないのでは～」のくだけた表現です。話し言葉であるため、作文には適しません。

キソドリル③ 「話し言葉を作文用に「書き言葉」に直そう

3 「話し言葉」を作文用に「書き言葉」に直そう

1 次の文章の…部分に「話し言葉」を使っている。書き言葉に直して、「」に直しよう。

例 妹は将来、通訳になりたいとゆう。英語だけでなく、いろいろな国の言葉を勉強してほしい。

① 例「けれど」
いよいよ職場体験が始まるという日になったけど、私は気が重かった。だって、友達とは別の体験先に決まってしまったからだ。五日間も一人でちゃんと仕事ができるか、とっても心配だったのだ。だけど、仕事や休憩の時間を通して、職場の人とすぐに仲良くなれたし、楽しく過ごすことができました。

② 例「なぜなら」
③ 例「きちんと」
④ 例「とても」
⑤ 例「しかし」

2 次の文章において「書き言葉」としてふさわしくない四つの部分に…線を引き、横に正しい書き言葉かえよう。

コンピュータに関連した技術の進歩はめざましい。人間が時間をかけておこなっていた作業を、ロボットや機械がすごい速く進めることが可能だ。その結果、**⑧ 例大量に**、いっぱい生産でき、人間が作るよりも安い価格で提供することができる。

⑨ 例だから
なので、人間にしかできないことを考えないといけないんじゃないかと私は思う。

⑩ 例のでは

ポイント

「話し言葉」は、日常会話で用いられる言葉。友だちとの会話などでは、くだけた言葉が多いね。

「書き言葉」は、文章を書くときに使われる言葉。作文にふさわしい書き言葉として、「正しい言葉遣い」と「目で見たときの読みやすさ」を意識しよう。

ここで覚えていてほしいこと

不特定多数の人に見てもらおう文章や、目上の人に向けて書く文章には、くだけた表現はあまり使わないのがマナーだよ。入試の作文も同じだね。今から「書き言葉」を意識する習慣を身につけておこう。



1

- ①「けど」…「けれど」と略さずに言います。
別解「が」「のだが」
- ②「だって」…理由を説明するときに使いますが、話し言葉なので「なぜなら」などの書き言葉に直しましょう。
別解「なぜならば」「というのも」「理由は」
- ③「ちゃんと」…規則正しく、乱れたところのない様子をあらわす言葉ですが、こちらも書き言葉ではありません。
別解「しっかり(と)」

(左上へ続きます)